

JGS 関東 新設杭に干渉する既存杭の撤去に関する研究委員会
第3回 議事録

- 日時：2019年2月13日（水） 14：00～17：00
- 場所：地盤工学会 地下会議室
- 出席者：桑原（パイルフォーラム）、青木（竹中）、加倉井（パイルフォーラム）、阿部（東京ソイル）、柏（国総研）、片山（東邦地下工機）、小坂井（MFR）、西（安藤ハザマ）、三反畑（安藤ハザマ）、古垣内（東急）、張（東急）、嶋田（大林）、森（熊谷）、福田（戸田）、長澤（清水）、栗本（清水）、原（西松）、伊藤（東亜）、小林（大成）、高岡（三井住友）、梶野（長谷工）、土屋（竹中）、宮本（東洋テクノ）、木谷（三谷セキサン）、田中（大洋基礎）、小川（旭化成）、細田（ジャパンパイル）、山下（不動テトラ）、菅原（丸建興業）、大平（八州建機） 媚山（新潟商事）、山本〔代理：根岸〕（地盤試験所）

記録者：伊藤

注：____欠席

- 提出資料：
 - 3-0_JGS 関東既存杭撤去第2回議事次第 (青木)
 - 3-1_第2回既存杭の撤去に関する研究委員会_議事録（案） (阿部)
 - 3-2-1_WG1：工法一覧など (三反畑)
 - 3-3-1_WG2：既存杭引抜事例調査フォーマット-東急の事例 (古垣内)
 - 3-3-2_WG2：(例1)東急-1-1 追加ファイル (古垣内)
 - 3-3-3_WG2：(例2)東急-2-1 追加ファイル (古垣内)
 - 3-3-4_WG2：調査フォーマットに対する意見および全体イメージ (古垣内)
 - 3-4-1_WG3：第1回SWG 議事録(案) (木谷)
 - 3-4-2_WG3：既存杭引抜孔調査票 (木谷)
 - 3-4-3_WG3：既存杭撤去孔と干渉する新設杭の設計法例 (宮本)
 - 3-5_調査協力依頼状 (青木)
 - 3-6_マニュアル構成案 (青木)

■ 議事次第

1. 前回議事録確認

- ・ 3. WG2 現状の説明の7項目、「WG1 でも～」→「WG3 でも～」に修正する。
- ・ 以上の修正をもって、議事録案は承認された。
- ・ WG1 の説明で「埋め戻した地盤の調査事例はない」とのことであったが、これは引抜業者としての意見である。

2. WG1 からの報告[資料 3-2-1]

- ・ 工法分類では「縁切・引抜工法」よりも「直接・引抜工法」の方を上段に記載してはどうか。
 - 「直接・引抜工法」は松杭や住宅用鋼杭などが対象となるため、実際にはほとんど無いかもしれない。
- ・ 「パイプロ+SP ケーシング」の SP はシートパイルのことである。
- ・ 工法分類の最右の項目(工法名)はほとんどが商品名であるが、委員会として名称を付け直す

など配慮が必要かもしれない。

→工法名には当委員会メンバー以外の協会の工法も追加する。

- ・スクリーエアー攪拌はスパイラルオーガで攪拌することで、ケーシングエアー攪拌はケーシングの横や先端に羽を付けて攪拌することである。

→横浜ライト工業の工法では、これらとは別の攪拌方法のものもある。

→エアーを使わない工法もある。

- ・引抜方法と埋戻し方法について、工法毎でそれぞれ対応しているものは明示する。

3. WG2 からの報告[資料 3-3-1～資料 3-3-4]

- ・調査事例表の最下段「ボーリングでサンプルの採取」→「コアサンプルの採取」に修正する。

- ・用語や分類などは各 WG と調整する必要がある。

- ・埋戻し材の各数値について、計画値か結果かが分からないので両方併記できるようにする。

- ・埋戻し材の目標一軸圧縮強さは、Fc 相当なのか安全率を見込んだ値なのかが分からない。

- ・単位は杭長：m、杭径：mm、体積：m³とする。

- ・回答しやすいように関連する項目が一目で分かるようにできないか。

- ・一現場で杭の仕様が複数ある場合は、代表的な杭について回答すれば良いだろう。

4. WG3 からの報告[資料 3-4-1～資料 3-4-3]

- ・「施主」という表現は相応しくないので、「発注者」などに表現を改める。

- ・既存杭撤去孔と新設杭が干渉する場合に、撤去孔の深度まで周面摩擦力を無視することは実務でも行われている。

- ・水平力の検討で突出杭とみなすのはかなり厳しいのではないか。水平地盤反力係数の低減程度の方が合理的ではないか。

- ・設計法に関する既往文献は少ないと思われるため、JSCA に対してもアンケート等が必要かもしれない。

- ・既存杭の干渉については、建築確認機関ではほとんど気にしていないのが現状である。

- ・強度が低い場合と高い場合を想定した 2 ケースで設計する場合もある。

- ・設計事例についても委員会で紹介してほしい。

5. 調査協力依頼について[資料 3-5]

- ・アンケートを WG2 と WG3 とで別々に依頼するのは回答者に負担がかかるため、一つにまとめて依頼する方が良い。

- ・各社から多くの回答をいただけるように、依頼文には「可能な限り多くの～」という旨の文章も入れてはどうか。

6. 成果物について[資料 3-6]

- ・目次案はあくまでもたたき台であり、この構成に囚われる必要はない。

- ・土地売買のみの場合の撤去・埋戻しは適用範囲外である。

- ・埋戻し方法の選定やグレード設定は現状では難しいのではないか。

→現状、無思慮に行われていることに歯止めをかけられるようにしたい。

- ・「2.3 既存杭の撤去工法の現状の課題」は最後にする方が良い。

- ・内容的にマニュアルというよりもガイドラインの方が良いのではないか。

■ 今後のスケジュール

次回 : 2019 年 4 月 15 日 (月) 14:00～

場所 地盤工学会

次々回 : 2019 年 6 月 12 日 (水) 14:00～

場所 地盤工学会

以上